



平成 28 年 5 月 16 日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号
会 社 名 健康コーポレーション株式会社
代 表 者 代表取締役社長 瀬戸 健
コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス
問 合 せ 先 取 締 役 香西 哲雄
電 話 番 号 03-5337-1337
U R L <http://www.kenkoucorp.co.jp/>

海外事業展開の加速化と国際財務報告基準（IFRS）の 任意適用に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、海外事業展開の加速化及び財務報告の基盤強化を図ることを目的として、当社グループの連結財務諸表及び連結計算書類について、従来の日本基準に替えて、国際財務報告基準（以下、「IFRS」）を任意適用することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、IFRSによる開示の時期は、平成29年3月期第1四半期からを予定しております。

記

当社は、「自己投資産業でグローバルNo.1ブランドとなる。」との経営目標を中期経営計画『COMMIT 2020』で掲げ、全ての人々が、より”健康”に、より”輝く”人生を送るための「自己投資産業」を事業ドメインとして、世界中に高付加価値の商品・サービスを提供し続けることを使命として事業を推進してまいりました。

こうした中期経営計画の一環として、当社子会社RIZAP株式会社（以下、RIZAP）では、高所得者を多く有する香港、台湾、上海、シンガポールなど中華・アジア圏の都市への出店に引き続き、2016年2月8日にはアメリカ合衆国サンタモニカ店をオープンし、現在5つの国及び地域にて展開をしております。

これらの展開について、前期の1年間は、最低限の予算をかけたテストマーケティングのフェーズと位置づけており、RIZAPのコンセプトや価値観が現地市場にどのように受け入れられるかを慎重にPDCAサイクルを実践してまいりました。

その結果、各国の市場状況で展開してきた施策効果が発現しております。

例えば、上海店では、口コミに特化した施策の結果、ご紹介による入会が6割を超え、サンタモニカ店ではRIZAPの特色である食事サポートを強化した低糖質ケータリングを導入の結果、現地の方からの反響が爆発的に増えております。一方で、台湾においては、TVCMの投下など日本のマーケティングに関する成功事例の展開が奏功しつつあり、今期は大型店舗のオープンなど加速度的な展開を検討しております。

本日公表の適時開示リリース「『RIZAPグループ株式会社』体制への移行方針決定に関するお知らせ」に記載のとおり、新たに策定したRIZAPグループ理念『「人は変わる。」を証明する』

に基づき、今期は、これまでのPDCAの結果を踏まえ、日本型のRIZAPサービスの現地化をさらに推進していく予定であり、また、日本・現地問わず、有力なパートナー会社との関係も強化し、展開のスピードを加速させる方針であります。

また、RIZAP以外でも、当社の『どろあわわ』をはじめとした通販商品についてのアリババ株式会社との提携による越境EC販売、当社子会社である株式会社エンジェリーベによる越境EC販売の取組みの開始や、株式会社ジャパングヤルズによるロシアでの海外販売の拡大など、グループ全体で海外事業の加速化に取り組んでおります。

このようにRIZAPをはじめとして、グループ全体で海外展開を推し進める中で、グローバルスタンダードであるIFRSを導入し、グループ内会計処理の統一、財務情報の国際比較の実践、国内外からの投資家からの出資の容易性の確保などを図ることを目指し、平成29年3月期よりIFRSを任意適用することといたしました。

(ご参考) IFRSへの移行に伴う開示スケジュール (予定)

平成28年5月：平成28年3月期決算短信 (日本基準)

平成28年6月：平成28年3月期有価証券報告書 (日本基準)

平成28年8月：平成29年3月期第1四半期決算短信 (IFRS)

平成28年8月：平成29年3月期第1四半期報告書 (IFRS)

以 上